



活力の素



ココロ編

なんでん屋



活力の素

ココロ編



○目次

反抗期とは

イジメとは

他人を責める

五月病・四月病

四月病

やる気を出す・・・四月の総まとめ

水行の実践

日々の体調管理

いじめの解消

集団生活と結婚

運命の瞬間

為に生きる人生、
充実する人生

人間に必要な資質

大局観

性格は一大決心でも変えられない

死して人生が満足か

物も言葉を発する

常識はくつがえされる

挫折

洗脳（みことば）とマインドコントロール

ホ・オポノポノの真髄とは

余裕があると

良い状態を維持

脳波は4つ

性格とは

人は四行詩が必要

家庭の不和 男女間

人と音楽の効果

空腹と音楽

タバコ禁煙通則

ギャンブルは余裕が命

お金の法則 ギャンブル編

マネーサークル

オフィス編

貯める風水、大事にする風水

【財布】

風水でいう安定した方位

西に黄色を分析

西に黄色とは？

お祈り

こだわらない

常識

人生の相対性理論

為に生きる

三人の法則

契約の鉄則

家庭でも使えますよ。

おつき合い

口癖

人の心を読む

落ち着きのない子供

空腹と音楽

人に教える

タバコの吸い方

タバコが嫌い

平均寿命について

電話

お金と人生は別物

ヘッドハンティング

ブレスレットとネックレス

タッチタイピング

考察とアイデアの順番

哲学的な考え方にする

自分を変革

反抗期とは

小学生のとき、子供の考え方は家庭重視ですが、中学生になると反抗期にはいる。

それは何故か？

実は、同年代の友達ができて、考え方も行動も仲間第一優先となる。

一方家庭では、小学生のままだと信じこみ、小学生時代と同じ様に接する。

それは、親が子供を勘違いした状態なのです。

さらに宿題や部活動、勉強が小学生時代より増え、ストレスとなっている。

まわりは悪いことを得意がる子も増え、その話に乗らないとつまはじきにされる。

そういうことが重なり、反抗するような言葉を発する様になります。

別に怒っているわけではありません。

学校の中で身体に染みついてしまった考え方を、そのまま家庭に持ち帰っているだけなのです。

長期の休みにはいれば、自然と元に戻っていると思います。

たとえば、学校帰りに一人でゲームセンターに行ったり、図書館へ通う子に反抗期はないでしょう。

その子らは、その場所でいったん自分を取り戻して、自宅へ帰っているのです。

逆に、ずっと友達とつるんでいる子らは、悪い道へと自然に進んでいきます。

よって、我が子を見極めることが大事であり、見極めたら確実に信じてあげましょう。

また、一日中メールを打っていたり、メールを打つことにムキになっている子は、精神異常になっております。

メールはやめさせましょう。

メールの返事は、絶対帰ってきません！

その内容は、返答するのが困るような文面なのです。

あなたは、他の人からそういうメールをもらったことはないでしょうか。

イジメとは

普通の人は、顔と態度と声で喜怒哀楽を現す。

いじめられる人は、顔はポーカークフェイス、心の中で喜怒哀楽を現している。

だから、他人はいじめられている人がわからないし、区別できないのだ。

イジメの張本人は、勉強や仕事ができないやつと相場は決まっている。

一方いじめられる本人は、真面目で堅気なやつと決まっている。

どちらもいいやつとは言えない。

本当にいい人はいじめられませんが、いじめられているなんて心で思いません。

いじめられている人、歯をかみしめなさい。

口は閉じていても、歯はかみ合わさっていない。

息はほとんど吐くことはなく、ほとんど吸っている状態。

それも鼻からでなく、口で吸っている。

さらに、口が空いていないので、酸素が少量しか吸えない。

これでは平常心になれません。

心で怒っているのなら、言葉でも怒ることはできますよ。

他人を責める

他人を責める心の叫びは、自分自身にあり！

他人を責めている内容は、普段自分が無意識に行っている行為です。

自分と似た人を怒るといふ心理が、人間にはあります。

あなたが嫌いな人は、あなた自身によく似ています。

似ているからこそ、嫌いなのです。

見たくない行為をあなたの目で、自分の脳裏に焼き付けているからなのです。反省をしましょう。

他人の行為をやめさせるには、自分から黙々と実践をしましょう。

そのうち、その人たちも自然にしなくなります。

でも本当は、自分の心が変わってきているから、他人が気にならないのです。どうですか、実践してみませんか？

五月病・四月病

口が空いている。

脳で考えずに、頭の中で独り言を話す。

そうすると、口の中が乾きます。

要するに、唾液が出ていけないので水分が足りない状態。

すると、落ち着きがなくなるようだ。

となれば、結局、精神科に通うはめになる。

本当は、こういう癖をなくさないといけない。

冬の間は外気温が寒いので、口が常時開くことはない。

また、独り言も少ないだろう。

しかし、3月も終わり4月にはいると、陽気のせいでも口が空き加減になる。

口が空けば、独り言も多くなる。

街中を歩けば、この時期こういう人が増えたことを実感できる。

そういうのを称して、昔から五月病というのではないだろうか。

五月病、四月病、もやもや病、登校拒否、ズル休みなど、やる気があるのに、体がだるかったり、体が思いどおりに動かない症状。

改善は、口を閉じてハミングのように歌を歌うような気分で、舌と上顎はくっつけたままにすると、口は乾かない。

そうすると、体もだるくならない。

これをすれば、一石二鳥です。

やる気と実行が両立できてしまう。

これで、改善できると思います。

四月病

寒い冬から急激に温度が上がると、やる気が失せる。

いわゆる四月病だと思う。

気温が上がっただけで、頭がぼーっとしてしまい、いつもの調子で仕事や勉強ができない。

春眠あかつきを覚えぬ。

毎年の恒例。

これを打破するには、薄着しかない。

体が寒ければ、こういうことはない。

昼飯を抜くプチ断食もよいだろう。

お腹が空いていれば、眠くなることもない。

この春時期は、生活習慣を変革する絶好の時かもしれない。

やる気を出す・・・四月の総まとめ

体を冷やす

頭ではない。

寒いくらいの薄着

アイスコーヒー

タイガーアイのブレスレット

昼飯を食べない

これできまり！

水行の実践

朝風呂はダメ、朝から冷たいシャワーで体を引き締めよう。

ここで、教えてもらった水行をひとつ。

頭から水なんてかぶりません。

心臓が、バクバクしてしまいます。

洗面器に水を張る。

右手を水につけて、その手を左肩にピシヤリ！

この行為を4回続ける。

次に、左手を洗面器につけて、右肩にピシヤリ！

この行為を3回続けて終わり。

簡単な水行でしょ。

信仰的な人なら、

水で左肩を叩く時に、「魔を分立させてください」

右肩を叩く時に「神様をお迎えさせてください」

というように、唱えれば効果的でしょう。

7回も唱える必要はなく、唱える言葉は、最初だけでよし。

日々の体調管理

みんな日々の体調のことに気をつけていない。

原発の問題なんかどうでもいいじゃないか。

自分に関係あるのか？

国の対策委員会の担当なのか？

そんなに怖ければ、日本から逃げ出した方がいい。

そちらの方が、超現実的だ。

そんなことよりも、今日の体調はどうなのか。

何か忘れていないか、そんなことを考える方が、自分らしいと思う。

結局こちらの方が、あとで具体的な原発問題に関わることができるのである。

いじめの解消

いじめられる者の原因

いつも目線が下を向いている。

視力がよくない。

メガネの度が合っていない。

いつも他人のことばかり考えている。

いじめられ者が改善

目線をいつも正面に保ち、顔が下を向かないようにする。

他人の顔をいつも見て、目線が合っても避けない。

毎日、一生懸命生きなさい！

そして、時折すべてのことに感謝しなさい。

集団生活と結婚

昔は独身寮を出るころに、結婚するのが常識だった。独身寮を出ても結婚しないやつは、異常と思われた。何故かその法則は当てはまっている。

独身寮時代は部屋で好き勝手なことをしているはず。

不安になれば、いつでも近くの部屋に友達がいたので、ドアを叩けばよかった。だから寂しくなかったし、楽しく暮らすことができたのだ。

しかし、結婚相手が見つからず、独身寮時代の最後にあがいても後の祭り。

そのまま外部のアパートとか借りるのだが、実は自分勝手に暮らすことは相当なプレッシャーになる。

今まで知らなかった世界を垣間見る様になるので、自分の思いどおりにいかな

い。

結局、自分の生活パターンが崩れ去ってしまう。

内向的になり、うつになり、果ては精神錯乱にまでなってしまう。

これでは、結婚どころではない。

世間に独身が多いのもこういうことではなかるうか。

やはり、実家から会社に通い、自分のペースのまま結婚に発展するのがよいパターンであると思う。

一人で住んでる男女については、結婚はむづかしいのだと思ってください。

まあ、マイペースで行動できる会社の中で、社内結婚を狙うのが筋道でしょう。

仮に結婚しても、相手のペースと合わせず、自分のペースを守ろうとするので、離婚に発展するのです。

相手は他人ですからね。

他人と暮らすなら、相手のペースに合わせないとやっていけません。

子供がいれば親子三人になり、三人の法則が当てはまります。

そこから夫婦円満が始まります。

だいいち、子供が欲しいと感じるのは、他人が子供を連れている姿を見てしまうので、欲しくなってしまうものです。

子供が生まれて離婚する二人は、もともと友達どうしだと思えます。

子供と片親が結束ため、もう一人の親ははぐれ者になります。

子供が生まれてから結婚した人は、気をつけましょう。

それって芸能人と同じです。

結末は知っていますよね。

芸能人の家庭生活は誰もわかりません。

見たこともない生活にあこがれても意味は無いです。

見習いたければ、自分の親を見習いなさい。

身近に一番信用できる先輩がいます。

独身時代は、芸能人にあこがれます。

彼らの心の中は苦しんでいますよ。

人間を知っている大人らは、自然に理解していますので、芸能人にはなるなど教えてきたはずですよ。

昔の人はこういうことを知っていました。

芸能人にあこがれれば、自分も同じような人生を歩むでしょう。

輝いているのは一時であって、たんなる旬です。

だったら、偉い人を見習う方が、良いのではないでしょうか。

運命の瞬間

ある宗教の言葉を借りれば、運命は95%既に用意されている。

順調に物事が進めば、用意された運命は順風満帆なのである。

しかし、人生はそうはいかない。

では何故そうなるかと言えば、残りの5%は本人が勝手に決めているからである。

たった5%といえど、本人が決定を誤れば天国から地獄に落ちていくようなも

のだ。

人生で出会う縁とは、一瞬一秒絶えず巡ってきている。

右手の直ぐ10センチ前には、幸運が差し出されているのに、左手側の遙か100メートル先のいつもの道が無難に選んでいる。

さらにその道を全力疾走で走り抜く。

その道は100メートルもあるのに、わざわざいつものパターンが余程いいのであるうと感じる。

右手の先には、幸運が待っているというのに。

為に生きる人生、充実する人生

世の中には、人のために生きてこそ人生という人たちがいる。

また、自分のために生きていると、それが人のためになっている人たちもいる。人のためにも動かず、自分のためにも動かない、人生を自然に生きている人もいる。

人生はいろいろだが、こういう人たちがいて、世の中が成り立っている。

自分はどのタイプだろうか？

考えたことがあるだろうか。

同じ職業でもタイプが違う人がいるように、職業では分別できない。

生き方がそもそも違うはずだから、自分を見極めていけばわかるはず。

人を見て無理をする必要は無い。

人生が充実していれば、貴方はそのタイプなのだから。

私は、自分の為に生きる人生、それが世の中の為になっているタイプであると

思う。

あなたは、生き方を間違えていないだろうか。

他人の言ったことを鵜呑みにしていないだろうか。

他人の言葉は信じず、その人の人生を頭でシミュレーション（模倣）してくだ
さい。

その人が何を信じて生きているのか必ずわかります。

行動を模倣せず、生き方を模倣する。

そうすればきっと貴方は、世の中で役に立つ人間になると思います。

人間に必要な資質

人間には、宗教と科学が必要である。

現代の日本には、宗教が嫌いという人が多い。何故宗教を嫌うのか、だいたい意味はわかる。

しかし、世界を見渡してみるとどうであろう。

全世界中が、宗教国である。

全世界中が悪の国でしょうか・

宗教のない国は、過去にいっぱいある。

そういう国は、人と人が奪い合い、また殺し合いの歴史を繰り返してきた。

宗教とは、日本で言う「道德」のことである。

宗教が嫌いだと言っている人の性格がわかっただろうか。

「道德」が嫌いだといった人は、非常に危険な人達なのである。

ちなみに、「十戒」という映画は、宗教物と見られているが、

石版に書かれたモーゼの十戒は宗教語録ではなく、人間の道徳について書かれてある。

過去の偉人は、必ずといっていいほど宗教を信じてきた。

そういう偉人が、公式や法則を発見してきたのです。

公式は美しい、公式に神を見た。

そういう名言も残っています。

あのアインシュタインも、「人には宗教と科学が必要である」と名言を語っています。

現代人も、成功した人は宗教と科学を大切にしておいて人生を歩んでこられた人が多いはずですよ。

宗教と科学の両方を信じない人、きつと世の中でたたかかれている人なのでしよう。

宗教と科学の対立をしている人は、絶対偉人にはなれないと思います。

大局観

将棋や囲碁の世界で、次の一手にこだわらず、ずっと先を考えて一手を打つ事を大局観と呼んでいる。

また、大局観とは「木を見て、森を見る」事と書いてある。

目の前のことばかり問題視していると、将来は失敗するぞとも言っているようだ。

人生の行動もしかり、病気や体調も同じである。

体調が優れないと言って、すぐ薬やサプリメントに頼るようでは、一時は戻っても将来同じ症状を繰り返す事になる。

この症状は、体が何を欲しているのか、何が足りないのかを考える事が必要なのだ。

毎日の行動を捨て去り、新たな行動を追加するとか、ある食べ物を絶対食べない勇氣も必要。

そうすることによって、自信にも繋がり、やる気にもなってくる。

結論は、目先の対応にとらわれず、将来のよい状態を信じて、自然に振る舞うことが重要なのではないかと感じています。

性格は一大決心でも変えられない

性格はなつたつもりでは変えられないし、変えようと思っても変えられない。一度自分自身で自分を殺すつもり、断崖絶壁に立たなくてはならない。

変わりたい、変わらなきゃじゃ、絶対変われない。

変わったつもりでも、いつの間にか元に戻っている。

死んだつもりじゃあ、ムリです。

絶対やめるも、ムリです。

性格は絶対変わらない。

変わるのは、生き方のみです。

性格ではなく、行動を変える事が出来るのです。

だから、他人へ決意した内容を宣言し、有言実行するしかないのです。
これが、コツです。

死して人生が満足か

生きているうちが華。

死んでからは何もできない。

生きて身体があるうちに、成すべき事がいっぱいある。

死んだら永遠に寝たまま、夢を見ているだけである。

物も言葉を発する

人生生きてきた中で、ものが発する声を聞いたことが、5回ほどあります。

朝起きて会社に出かける時、腕時計を取って、次に鍵を取るうとしたら、「俺はここだぞ」、「ここにいるぞ」など、次々に声が聞こえるではありませんか。

ちよつとやばい状態だぞと思って、その場はやり過ごしてしまいましたが、物も声を発しているようです。

当然、日常このようなことは全然ありませんが、時たま過去を思い出します。このような話をするのは、近藤麻里恵さんの「人生がときめく片づけの魔法」を読んでいる時に思い出したからです。

捨てる時には「活躍してくれてありがとう」と、ひとこと声をかけるそうですが、物が言葉を発しているとなれば、当たり前前の話です。

また本書には、ときめくものを残すという作業をします。

ときめく物体からは、「ぜひ使って！」と言っているように感じ取れます。

だから、物がいっぱいある部屋にいと、思考が混沌してると思ってください。聞こえない声が部屋の中に充満してるとなれば、スッキリしないでしよう。いつも使うものだけ置いて、使わない物は捨てる！これが幸運を引き寄せる道です。

捨てる時には、「頑張ってくれて、ありがとう」も忘れないで。

常識はくつがえされる

江戸時代なら、40歳で死ぬのが当たり前だったが、現代では80歳。

あなたが今まで生きてきた中で覚えてきた常識は、50年後、300年後はどうなっているだろうか？

では、あなたの常識は、西暦何年の常識だろうか？

挫折

とにかく言動で調子づいてる人間は、何かの拍子に挫折しやすい。

冷静に物事や言動を判断し、着実に実績を出す人は、成功を維持している。

調子づいてる人は、いつも愚痴や文句を吐き出してる人が多い傾向も事実である。

ああはなりたくないものだ。

いつも問題を正面から見据えている人こそ、立派な人間になる要素があると思う。

洗脳（みことば）とマインドコントロール

洗脳という言葉は、忌み嫌われているので、「みことば」と言い換えましょう。

みことばとは、「御言葉」と書きます。

字のごとく、神とか、偉い人から授かる言葉です。

和尚さんからありがたい言葉を授かることです。（説教という）

一般人に置き換えても、信頼できる内容の話といえるでしょう。

例えば、

わたしは、キリスト教牧師の「御言葉」を聞いて人生に目覚めた。

あのひとは、キリスト教牧師に考え方を「洗脳」された。

ということになります。

当の本人にとっては、ありがたい言葉なのですが、他人から見ればまゆつば物なのです。

常識に当てはめても信用できないものならば、それを「洗脳」と呼びます。

洗脳とは、他人がある特定の人に使う差別言葉です。

決して本人が発する言葉ではありません。

マインドコントロールも同じです。

普通にこの言葉を使ったとしましょう。

「なでしこジャパンは、監督にマインドコントロールされています」

この文章は変でしょうか。

なにか、変ですね。

正解は、

「なでしこジャパンは、監督に絶対的信頼をおいています」

これは、なでしこジャパンが発する言葉です。

前の文章は、他人がなでしこジャパンに発する言葉です。

マインドコントロールとは、日本では差別の言葉なのですね。

本来マインドコントロールとは、「自己暗示」のことです。

有名な選手が、毎日行っていることです。

使い方を誤ると、危険な言葉になってしまいます。

ホ・オポノポノの真髄とは

全ての世界は自分の心にあります。

自分の心が全ての世界に通じている。

自分の心がいい加減だと、思いの世界もいい加減になる。

心が真面目過ぎると、周りの世界も真面目な善の世界が広がる。

一人でも異質な人が来ると、変な人間が来たなと感じる世界である。

この世界にいと、いつも邪魔者たちがやって来る。

不幸だと感じれば、不幸感に見舞われるし、相手を理解すれば、幸福だと感じるようになる。

「ホ・オポノポノ」の精神とは、こういうものである。

だから、自分が不利だと感じ始めたら、4つの言葉を唱えよう。

「ありがとう」

「ごめんなさい」

「ゆるしてください」

「あいしています」

実は、この言葉たちは、邪心の心を持っている人にとって、絶対言えない言葉なのである。

もし、一言でも言いづらい言葉があったなら、4つの言葉を復唱しよう。

素直に言えるようになれば、成功！

余裕があると

余裕があると、心配事が出てくる。

余裕がなければ、必要最低限のことは実行しているはず。

恐れることはない。

むしろ余裕のある方が、恐怖心を生み出しやすい。

良い状態を維持

いい状態を維持するのは、舌先を上顎に軽く触れること。

脳波は4つ

アルファ波は、リラックス。

ストレスが抜けたとき、持続する。

ベータ波は、愚痴・批判

不平不満を出し続けると、ベータ波を出す。
続けると、不快・不調が持続し病気になる。

シータ波は、瞑想状態。

気の呼吸法。

最初は吐く、吸うのは自然な行為。

効果は、自然治癒力を高める。

デルタ波は、睡眠状態。

ホ・オポノポノを実践するようになると出来る。

ために生きる生き方を実践。

ありがとう、ごめんなさい、許してください、愛しています、この4つの言葉。

予測・予知ができるようになる。

性格とは

性格は毎日様変わりする。

今日は昨日のようにはいかない。

人は四行詩が必要

俳句、川柳、ことわざ、四字熟語など。

これらは、人の教えについて語られている。

家庭の不和 男女間

結婚しても、友達を第一優先する人は、家庭不和になる。

結婚したら、友達とは疎通にならなければならぬ。

うまく両立できる人は良いが、そうでない人は絶縁するつもりで接しなくてはならない。

一番近くにいる人が優先されるべきで、

友達を優先してはいけない。

友達を優先する人は、離婚を考えるだろう。

若い時は、そういう状況に陥りやすい。

中年にもなれば、家庭中心に考えるようになる。仕事を早く終えて帰ることではない。

家庭は家庭、仕事は仕事と割り切って没頭することである。

家庭に仕事の話は禁物である。

仕事にも家庭の話は持ち込まないのが鉄則である。

これを実行している人は、家庭不和になっている話は聞いたことがない。

会社でも、人生相談だと問題ないと思いますが、趣味の話ばかりしていると自滅しますよ。

人と音楽の効果

人はお気に入りの音楽を持っている。

その曲を聴くだけでいい雰囲気になってしまう。

だから人は、十八番（おはこ）を1曲もっているだけで満足する。

いろいろな音楽をガラガラ流している時は、注意散漫、よい意味でリラックスしているはずである。

物事に集中したい時は、同じ曲を何度もリピート機能で聞いていればよいのです。

じっくり考えることができます。

なぜそうなるのかは不明ですが、脳があるひとつかみの事柄を維持するために必要なのではないかと思います。

だから気分の良い時は、同じフレーズをずっと歌っていると思います。

人がきたり、声をかけられれば、それが中断します。

そして、次なる集中、考え事を繰り返しようとしています。

リラックスしたければ、静かな場所にいるだけでなく、いろいろな人と話すの

もよい手でしよう。

もちろん、多くの音楽を流している方法が効果的だと思います。

ただ、ヒット曲を何度も聴いていることで、人は一つ上の段階に昇ります。

その時期の楽しい行動が、後の世のよい思い出と結びついてきますから、その人にとって、なつかしのヒット曲になるのですね。

また、楽器の上達は、同じフレーズを何度も弾くこと。

自然と楽器と音楽の感性が上達するはずです。

空腹と音楽

お腹が空かないようにするには、良い音楽を何回も聞けば良い。

音楽アルバムを聞くのではなく、一曲のみで良い。

自然の木立の中にいる状態と同じであり、お腹が空いたと思わない。精神は集中している状態です。

音楽を次から次へと聞いている状態では、お腹がすくと思います。注意散漫、またはそれをリラックスという。

タバコ禁煙通則

家族旅行から始める。

必ず3人以上。

いつも3人で話していること。

一人きりにならない。

一人になると吸いたくなる。

ギャンブルは余裕が命

ギャンブルは、持ち金に余裕がある時に勝つことが多い。

パチンコは、出かける前に勝金額を決めておくこと。

ギャンブルに出かける前に、今日買うべきものを買っておく。

ギャンブルに勝ったなら、すぐ帰ること。

当たった当選金を使って買っても、もう当たりません。

汗を流したお金を使うなら当たる可能性があります。

儲けたお金は、絶対残りません。

すぐやめましょう。

儲けたお金は、給料のお金とは別にしましょう。

儲けたお金は、絶対欲しかったものを買いましょう。

儲けたお金は、あなたの為にあるのです。

借金に使ってはいけません。

ギャンブルも運です。

神様の授かりものです。

その金は神様があなたに授けたのですから、他人に使うはやめましょう。

きっと後悔しますよ。

仕事もギャンブルです。

気をつけましょうね。

お金の法則 ギャンブル編

ギャンブルにお金を使うと、お金は戻ってこない。

しかし、人のために使ったり、ものを購入すると、ギャンブルでお金が帰ってくる。

そして味を占めて、ギャンブルにお金をつぎ込むと、またもやお金は戻ってこない。

人生、こういうものです。

マネーサークル

金を回す。確かにそうかもしれないが、本当は人のために金を稼ぐという意味である。

普通、人は働いて自分で金を稼いだと思っっているが、働くということは他人の給料を儲けているのである。

他人が働いて稼いだお金が、自分の手元にくるのであって、自分自身が稼いでいるのではない。

自営業も同じである。

自分自身で稼いでいるのは、自給自足生活だけである。

オフィス編

片付ける書類は、左側に置く。

右側にものを置くと忘れる。

普通、人は左側に使うものを置く。

それもごく自然に。

貯める風水、大事にする風水

部屋の北には、捨ててはいけけない大事なものを置いておく。

通帳や財布は必ず北に置く。

そうすると、なかなか中身が出て行かない！

減りが少ないし、増えてくる可能性がある。

部屋の西に置いてあるものは、ドンドン使う。

また、出入りが激しい。

東に置いておくと、忘れてしまう。

全然使わなくなるので、押入れに良い。

南に置いておく物は、下着とか毎日使う物が良い。

こちらもよく使う。

【財布】

財布は必ず黒い財布、黒に入れると安心感が出る。

入れた金額も思い出しにくいので、金勘定しなくてよくなる。

よって、財布からお金が出て行きたくなくなる。

買い物するときは、黒い財布を持ったまま買い物すると、余計な買い物をしな

くなる。

ベージュの財布は、買いたい物の金額を入れておき、保管しておく。
買いたい時は、お金を入れたベージュの財布を持参する。

ブルーの財布は、前向きになる物を買うためにある。

黄色の財布は、出入りが激しい。

赤い財布は、思いつきり使ってしまう。

用途に合わせて、それぞれ財布を持参すること。

もちろん目に付く位置に持ったり、バッグにいれたりすること。

風水でいう安定した方位

考え事や書き物は、窓を開けて窓辺ですること。

方位は北を向いて実践すること。

食事でお父さんは、北を背にし、南を向くと家族団欒の位置になり、お父さんの権威が保たれる。

寝る時は、枕を西か北に置くと、ぐっすり眠れる。

でも、枕側の隣の部屋に人がいると、睡眠不足になる。

そして、枕側は必ず外壁側のこと。

枕の位置は、常に一定していない。

なぜなら、隣の部屋や上の階や下の階の人が不安になり、部屋の模様替えを勝手にしてしまうからである。

枕の位置を変えるだけで、こちらも変えなければいけない。それをしないと、こちらがおかしくなってしまうのである。そして時には、音楽を鳴らしたり、テレビをつけたまま寝なければいけないのである。

西に黄色を分析

古代は何かを崇める時、北に向かって拝んでいた。北極星に向かってとか、磁力の向きですよね。

いわゆる信仰なのであるが、その際、左側に貢物を捧げる習慣が、すでにあったのだと思う。

そう、左側とは方位で西の方角。

古代では、お金ではなく五穀豊穡が生きる目的であり、明日を生きるための糧が必要なのである。

そう考えると、人間の目で見える位置に、風水でいうカラーがあればいいことになる。

南を向いていれば、東に黄色となる。

いつも座る向きが北なら、その人は風水と合致しているのである。

だから、誰でもご利益があるわけではない。

通常は、風水師に直接指導してもらわなければならない。

自分で本を鵜呑みにして実践したとしても、当てはまりにくいわけである。また、信じ込んでいる場合は、風水の色もあながち嘘ではないことも多い。

ただ、それを学問では色彩心理学というのだが……。

風水でいう置物などの配置替えは、認知心理学に当てはまるのであろう。

西に黄色とは？

五穀豊穡に当てはめて、作物を西側におくと来年も豊作になるということ。

作物が多いと、来年まで生活が豊かになり、いっぱい働くようになる。

いっぱい働くようになれば、来年もいっぱい作物がとれる。

その後、お金のシステムができてからは、お金を当てはめるようになったと考えられる。

ただ、黄色の解釈では、お金をいっぱい使えば、来年はいっぱい入ってくるということ。

結果、散財すれば、来年もお金が集まるとなってしまうので、少し気をつけた

方がよい。

蓄財にはなりません。

景気の良い職業なら、当てはまりますが・・・。

お祈り

神社に行った時だけ、お祈りをしていると思っ
ていませんか？

あなたは、一日中いつでもお祈りをしています。

10秒に1回出てくる言葉が、お祈りなのです。

人を罵ったり、悪い言葉、不吉な言葉を言っているならば、それらも全てお祈りなのです。

あなたは、人を呪っていませんか？

「人を呪わば穴二つ」

人を呪ったたら、自分も報いを受けるので、墓標を二つ用意しろという意味。

こだわらない

物事を決めつけるのではなく、マクロで見る目を養うことが大切です。物事の本質が見極められますよ。

常識

人は常識をどういう形で覚えてきたのでしょうか。

人から口伝えでしようか？

メディアを見たり、聞いたりでしようか？

口伝えの常識は忘れて、メディアの常識にとらわれていませんか。

人は90%の常識を忘れて、メディアのいう100%の常識を本気でそうなんだ
と思っ込んでいる節があります。

ニュースで出る事件は、1%にも満たないのですが、テレビではそれを世の中
全体で起こっているように言います。

それを本気にしていませんか？

その事件をなぜ恐れるのでしょうか。

あなたがその事件に遭遇する確率はゼロです。

起きもしない事件を気にする方がおかしいです。

私は関係ないわと言っている若者の方が、真実を物語っています。

当たり前の常識を大切にしましょう。

そちらの方が効率的ですよ。

テレビの普及で急速に常識がすり替わってきてます。

常識は昔から常識のままです。

人は80年も生きれば死を迎えるような事柄が常識です。

これから先も変わりませんが、稀な常識は増え続けます。

人生の相対性理論

ある物事に対して、物の見方が違くと結果が変わってくる。

前向きに考える場合と、固執した考えで判断する場合がある。

前向きに考えれば、将来良い結果になるが、後ろ向きで考えると将来失敗する。人生そうなっているようである。

ある人は、物事を良い考えだと信じ実践する。

その対象なる事柄は、その人にとっては善の行為と見て取れる。

また、ある人は、物事を疑い悪いことだと判断する。

そして、対象なる事柄は、悪の行為だと判断させる。

どちらも同じ行為なのだが、見る人によって見方と感じ方が違う。

これが、人の行為に関する相対性理論なのである。

為に生きる

重要な役職、地位にあつても一社員のために汗をかいて働く。

それを続けければ、自分が今何をやらなくてはいけないかが、自ずとわかってくる。

為に生きる生活とは、人のために尽くして、自分の道を見つける手段なのです

三人の法則

三人寄れば、文殊の知恵。三人寄ればかしましい。等の言葉があるが、三人集まると会話が成り立つという法則がある。

三人だと二人は会話を成し、残った一人は会話を聞いている状態である。

その一人は、黙ったままで二人の会話から新たな話を考えている。

冷静に判断をして、的確な情報を二人に言おうとしている。

そして、会話に加わり二人の会話に変わると、残った一人が聞き役になる。これを繰り返して続けると、満足した会話が成り立つわけである。

では、二人きりだとどうか？

すぐ側に座っている行きずりの他人が、聞き役になっているのである。

他人が会話に参加していることになるわけである。

その他人が聞き役にならなかつたら？

会話している二人は、ケンカをしているか、ムキになっていい争いを続けるだろうか。

一人でいるとき、側に二人連れが現れたら、気をつけなければいけない。

聞き役に参加するのなら問題は無いが、話す言葉が大きくなったと感じたら、

早々と退散するのが、無難である。

聞いていると言葉の節々より、自分が怒り出したり、やなやつだなと思いついでしまうのが普通なのだから。

契約の鉄則

必ず4人必要！

二人で出向いたら、相手も二人。

この場合、こちらの言い分も通る。

また、相手の言い分も承諾する。

この場合は、お互いが納得して仕事を持ち帰ることができる。

相手に責任を取らせる場合、

こちらは二人で、相手は一人。

こちらの言い分を押し通すことができる。

相手は、言い訳を言い、こちらの要求に了承するしかない。

相手に謝る場合、

上司を連れて行っても良いが、相手に悪い印象を与える。

上司はこういいうだろう。

必ず一人で行ってこいと。

一人でいくと相手に好印象を与える。

これがビジネスの鉄則！

家庭でも使えますよ。

家電でも携帯でも、買いに行きたいときは、一人で行ってはいけない。

どうしてもいい品物を買わされてしまう。

必ず二人以上で店員と交渉すること！

狙っているものが買えます。

三人で行けば、即決です。

お得になるときもあります。

これも気をつけよう！

一人で買うことが好きな人は、その商品を熟知しており、知識はその店員以上。

だから何を言われても負けない。

そうなので、知らない店にはいる時は、買わされるつもりで入ること。

追伸、常連になる人は店員と価値観が同じなのである。

だから客の立場なのに、お店と友達になってしまう。

おつき合い

彼氏、彼女は一人だけだと思いきこんでいる人は、付き合いも長いし、別れる可能性もある。

誰でもいいのだと思いき込んでいけば、あっさり決まってしまうものである。

相手が一人だと決め込むのは悪い考えで、人は誰でも友達になるのだと思いき込む方が良い。

そうすれば、うまくいくのである。

彼氏一筋、彼女一筋、これはダメになるパターンである。

なぜなら、相手の嫌なところがどんどんクローズアップされてくるので、浅く付き合うのが最適な方法である。

で、結果は良くなるというオチがある。

口癖

「はあー、ふー」とよく口癖でいう人がいる。

心の中で、本音をごまかしていると、よく出てくる。

本音は本音なので、ごまかすということは、おかしい。

自分の本音を心の中でごまかすなんて、やってはいけないこと。

今すぐやめよう！

人の心を読む

人は即興では他人の心は読めない。

後日、または将来、あの時そうだったのだろうと考える時がくる。

それを何度も繰り返しやっていけば、データベースが出来上がり、即興でも、もしかしてくらいは読めるようになる。

達人は、相手のちよっとした仕草で読んでしまいが、素人もいつもの友達くらいは、心を読んでいるのですよ。

落ち着きのない子供

子供が落ち着きない状態の時、そばにいる親は同じことをずっと考えたりしていませんか。

子供は親の心境を読み取り、何か焦っているのだと思います。

その考えていることは、決して良いことではないですよね。

何も考えないようにしましょう。

子供は落ち着くはずですよ。

空腹と音楽

お腹が空かないようにするには、良い音楽を何回も聞けば良い。

音楽アルバムを聞くのではなく、一曲のみで良い。

自然の木立の中にいる状態と同じであり、お腹が空いたと思わない。精神は集中している状態です。

音楽を次から次へと聞いている状態では、お腹がすくと思います。注意散漫、またはそれをリラックスという。

人に教える

自分が体験して、それを人に話すようになると、その行為が身になります。人に教えることによって初めて、その行為を達成したことになります。

先生になって、勉強を習得したことになります。そういうものです。

タバコの吸い方

また、子供の前でタバコを吸っていると、子どもが怒り始めませんか。

会話をしながら吸っていけば、子供に嫌われませんが、自分だけいい気分になって吸っていませんか。

大人の場合も同じです。

タバコは会話をしながら吸うものです。

自分の世界に浸らないようにしましょう。

他人からみればタバコが嫌いなのではなく、タバコを吸う態度が見た目に気に入らないのです。

他人を無視しないようにしましょう。

その場の空気が読めていないと思われていますよ。

タバコを吸う時は、何か物思いにふけっているはずですよ。

いわゆる、無視しないでよと言っているだけなのです。

タバコが嫌い

タバコを吸わない人からみれば、ただの偏見です。

過去にタバコを吸う姿を見て、嫌いになった経緯があります。だから、タバコを毛嫌いです。

タバコを吸っていた人間がよっぽど嫌な人だったのでしょね。

平均寿命について

【世代の違い】

日本人の平均寿命は20世紀後半に延びてきたが、これから20年後、30年後は必ず落ちると思っっている。

2006年4月、世界保健機関（WHO）で、日本が総合1位の82歳、次にヨーロッパ系が続き、アメリカが30位で78歳。

そして、現在平均寿命を延ばしているのは、戦争前・中の世代であることがわかった。

戦争中は、食べるものはなく、現代のように飽食の時代ではなかった。

ひもじい生活の中、最低限の必要な栄養をとっていたが、現代ではガン等や生

活習慣病にはなっていないし、あまりそういう話も聞いていない。

戦後は、G.I.から始まる欧米文化の食事が大々的に入ってきた。

戦後はそういう食事が主になり、生活習慣病やアレルギー体質やガン等の疾病病が蔓延してきている。

1945年 ≡ 昭和20年（第二次世界大戦終戦の年）

終戦時に生まれた人は、現在66才であるから、

1933年 ≡ 昭和8年 以降に生まれた人は、早死にする可能性がある。

欧米の食事による影響が出るため、今後は平均寿命は落ちるはずである。

現在平均寿命を伸ばしている高齢者は、昔の食事を実践しており、栄養過多になっていない。

食事の習慣が、昔のままかそれとも現代に合わせてきたかが問題なのである。

平均寿命という観点で、個人的にはこのようになると予測している

電話

かかってくるのは、貧乏神。

自分からかける時は、福の神。

これ鉄則！

かかってきた電話は、取るものではない。

ほぼ100%、苦勞を背負うものではありませんか？

家族なら留守電に録音か、携帯に電話するはず。

お金と人生は別物

お金と人生は、正比例もしくは反比例する法則などないのです。

お金と人生は別物と考えてください。

お金はなくても人生は充実します。

お金もあり、心が充実する人もいます。

お金はあるのに、心が飢えている人もいます。

なぜでしょうか。

お金とは、人生を充実して生きるための小道具なのです。

お金があったら満足しますか。

実は違うのです。

物が欲しい、または買いたいただけなのです。

物があれば、心は満足し、充実します。

では、人生に必要なことは何でしょうか。

それは、友と品物なのです。

では、人間に必要な三種の神器とは何か？

1. 人とのつながり（仲間）
2. 万物（物質、物体）
3. 自分の心（自分自身）

この三つです。

物体にはペットも含まれます。

ヘッドハンティング

グローバル化を目指すなら、まず内部から実践しなければいけない。

買収してからでは、筋道が逆である。

内部を変えてから手を出すべきで、それから買収先を安心させる要因を作っていないければならない。

ヘッドハンティングも、期待して入れるのではなく、実績を見て必ずそのように変えてくれる人物を入れなければならない。

期待だけしても、内部が変わっていないければ意味はない。

ヘッドハンティングしたら、内部は変わるのだと思わなければ、成功しないのである

ブレスレットとネックレス

ブレスレットはつけない、つけると大事なものを忘れる！
ネックレスも一緒。

どちらも、つける時は何かしたいとき、買い物に行きたいとき付ける。
どうしてもいい買い物の際はつけない。

絶対買いたいときは、つけている。

勝負下着みたいなもの。

要するに意識付けのために装着している鎧のようなもの。

でも、ブレスレットはつけない。

つけると大事なものを忘れる！

それは日々の行動の中で必要な事を忘れるからである。

携帯電話、財布、鍵など。

準備は出かける前ではなく、夜のうちに用意しておくのが鉄則。

毎日の癖になるまでは、何かを忘れますよ。

タッチタイピング

ブラインドタッチが出来る人は、入力は確かに速い。

でも、速くキーを打つこと事体が、ちから仕事なのである。

なぜなら文字を打つことのみ集中しているので、何も考えていないのである。遅くても人差し指だけで入力している人のほうが、文書を考えながら的確な文

章を書く人が多い。

速い人はほんとに早いけど、打ち間違えたり、意味が不明な文章になってしまうため、打ち直している姿をよく見ます。

指を伸ばして全部の指を使うより、人差し指だけ伸ばし、他の指は曲げているくらいのほうが打ち間違いはしないし、納得する文章が書けると思います。

考察とアイデアの順番

Windows ←Mac

解析は、

Windowsで考えて、ちゃんと深掘り、Macで考えること。

アイデアは、

先にMacで、実作業はWindowsでやる。

MacがiPadやiPhoneになってもかまわない。

なぜだか解らないが、クリエイティブ作業は、Apple製品がいいらしい。

また、同時に聴いている音楽は、リピート機能を使って何回も聞くとよい。

その状態を維持するためには、必要なことである。

人が入れ替わり、立代りしているような場所では、考えはまとまらない。

人が移動しない場所で考えるべきである。

Macで考えると、アイデアが盗まれにくい。

読書も実本で読むより、電子書籍の方がよい。

なぜなら、参照はコピー&ペーストだからであり、頭の中を読まれにくいから

である。

パスワード管理もMacの方がよく、Windowsでは盗まれてしまう。

また、Macだとウイルスも作られにくいし、Windowsやアンドロイドでは誰でも作ってしまう。

シェアが低いことも関係しているが、なぜかそうさせる雰囲気がある。Windowsやアンドロイドは、今後も発展する。

しかし、危険が多いことも考えておかなければならない。

哲学的な考え方にする

・やる気の元

人はもう一度快感を得たいが為に、努力する。

それがやる気の本元になっている。

・ ツール

目的は何かをやり遂げること。

それを援助するのがツールやアイテムである。

アイテムを使用するのが目的になってはいけない。

常に目的が確認できねばならぬ。

・ 人生の目的

人生の目的は、有意義に生きること。

それだけ！

決して、他人任せにしてはいけない。

自分自身が何かを成し遂げることが、生きる目的なのである。

人生これでいいやと思うことが、フラストレーションの始まりなのだ。

・重要！インスピレーションの捻出…私のやり方

静寂と音楽、そこにMagがあるれば、クリエイティブな空間になる。

脈絡のないインスピレーションこそ、クリエイティブな感覚になる。

同じ感覚、同じ考えを持続してはならぬ。

常に斬新な感覚こそ、前向きな人生である。

自分を変革

性格は変えられないけれども、努力すれば自分を変えることができる。

何でもやる気、何でも努力、実現できそうな達成目標をひとつずつクリアしていけば、ダメな自分を変えられる。

達成すれば、それが自信へとつながる。

自信につながれば、今までちょっとしか出てこなかった自分が目の前にいる。

あの人のようになりたい。

そういう願望は達成できるが、顔や性格までは無理です。

行動は真似ることができても、性格は同調しません。

性格は、決して変えられないのです。

△型人間が、B型人間に変身できないように。

自分の性格と行動は、必ず分離して把握しておきましょう。

なんでん屋

healing_nan@yahoo.co.jp